

簡易霧箱の正しい使い方

実験方法



- ① 霧箱の裏蓋をとり容器に適した大きさの冷却材やドライアイスを入れ、裏蓋を閉める。
- ② 霧箱の上蓋をとり、スポイトでアルコールをスポンジに十分にしみ込ませる。
- ③ 放射線源の位置を固定し、本体を水平に置く。
- ④ 上蓋をかぶせ、観察層の側面より照明を当て、上部を温熱器や手で温める。
- ⑤ 観察槽の上から放射線の飛跡を観察する。

注意事項

飛跡が見えない時の確認事項

- ドライアイス等の冷却材が冷却板に密着しているか。
- アルコールがスポンジに充分含浸しているか。
- 照明が正しく当たっているか。
- 放射線源の放射口が水で濡れていないか。
- 本体が傾き激しい対流が生じていないか。
- 飛跡が不鮮明な時は、ビニールパイプ等を乾いた布で摩擦し発生した静電気で上蓋を帯電させてください。

実験前

- ドライアイスは直接手で掴まないよう軍手等を用いてください。
- 実験用放射線源（天然鉱物）を使って実験してください。

実験後

- ドライアイスは実験後は取り除いてください。
- アルコールは充分蒸発させ、火気のない安全な場所で保管してください。
- 実験後は放射線源をケース等に入れ保管してください。



理科教育を支援する

公益社団法人 日本理科教育振興協会

TEL. 03-3294-0715 ホームページ <http://www.japse.or.jp>